

◎ ご存知ですか？『グリーンケア』

今回、皆さまにお知らせしたい取り組みがあります。大切な人を失った悲しみから立ち直す手段として、病院に行く前にできる「グリーンケア」が、今注目されています。深い悲しみ「悲嘆（グリーフ）」の中にある人を、医療従事者や専門家によるカウンセリングなどを通じて支え、「ケア（お世話）」する取り組みです。大きな喪失に伴う、心理的・身体的・社会的・スピリチュアルな反応、全人的な痛みに寄り添うことで、立ち直りをサポートします。心が沈んでしまったり折れてしまいそうなとき、安心して話せる。思いを吐き出せることで頭の中の整理が付き、自分はどのような状況にあるのかなど、悲しみにふたをすることなく現状を受け止めることが大切です。心身回復の期間は、人それぞれです。今後の生きる力を得るため、ゆっくりと前を向いて進む力を取り戻せます。

人生にはさまざまな喪失があります。そのなかでもとりわけ大きな喪失は、家族や大切な人との死別でしょう。特に、災害や事件・事故、或いは自死など、突然その別れに直面した場合、受け止めきれないのは当然のことです。もちろん、年月を経た闘病の末であっても、予期しての死別も、悲嘆と苦しさがあります。

また死別以外にも人生にはさまざまな喪失があります。しかし、どのような場合であっても決してひとりで悩まず、グリーンケアの専門家のサポートを受けることを検討してください。

市では現在調整中ですが、グリーンケア認定士がいる医療機関等の現状を把握し、毎月2回程度の相談日を設けられるよう、県と連携して支援策を検討していきます。今後引き続きお知らせをまいります。

◎ 『磐田ここからラボ』令和4年度

新たな知識との出会いや、文化・芸術など感性に触れる豊かな体験は、世代に関係なく常に胸を躍らせるものです。「磐田ここからラボ」は「校舎のない学び舎」をコンセプトに、多くの市民が多様な学びを楽しみ、人と人との交流が生まれることを目指してさまざまな取り組みを行ってまいります。

令和4年度は子育てやSDGs、ダイバーシティ、歴史文化など多様なテーマの市民向け講演会やシンポジウムの開催、小中学校では演劇やスポーツ選手との触れ合いの場を設けたり、NPO法人や市民活動団体が企画する市民向け事業や企業の社員向け講座の開催などにも助成していく方針です。草都市長は「未来を担う人それぞれが主体的に考える場を創出し、新たな価値が生まれる学びのフィールドづくりを目指す」とし、関連費2,850万円を予算計上しました。

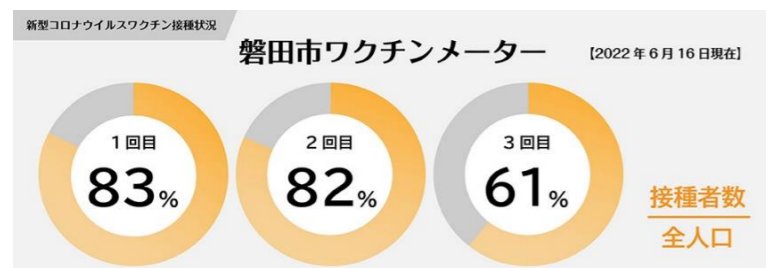
現在も磐田市では、市が主催・共催するさまざまな講座や講演会が行われていますが、さらに内容を充実しパワーアップしていきます。また子どもたちに学ぶことの楽しさを伝えるとともに、未来に対する可能性を広げる礎とします。

「磐田ここからラボ」をきっかけに学びの交流が波紋のように広がり、市内外の多様な人材を引きつけることで「人が集まる磐田市」の実現を目指していきます。

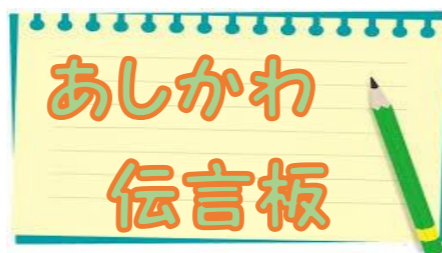
磐田市の肝いり事業です！今後の企画や実施状況は磐田市ホームページで紹介していますので、是非ご覧ください！

https://www.city.iwata.shizuoka.jp/kurashi_tetsuzuki/chiiki_kouryuu/1010587/index.html

◎ 磐田市 新型コロナウイルスワクチン接種状況について（令和4年6月16日（木曜）0時時点）



- ★ 市内接種状況をお知らせするものであり接種を強制するものではありません。
- ★ 接種の強制や、未接種の方に差別的な扱いをすることの無いようお願いします。



あしかわ Times

タイムズ



～ あしかわ和美 後援会だより ～

皆さまこんにちは！あしかわ和美です！

暑い日が続いておりますが、皆さまにはお変わりなくお過ごしのことと存じます。

今年は異例の早さで梅雨明けとなりました。今夏は危険な暑さが続く恐れもあります。熱中症予防のためには、ミネラルと塩分の補給が大切！麦茶やお味噌汁を飲むようにしたり、屋外では日傘や帽子を使用し、日陰に入ってこまめに休憩をとりましょう。屋内でも室温を確認しながら扇風機やエアコンを上手に使い、温度を調節するなどして熱中症予防を心がけていきましょうね。

私たちの「当たり前」を奪った新型コロナウイルス感染症により、ここ数年で色々なことが変化してきましたが、国を挙げたワクチン接種の推進や医療従事者による体制の維持などにより、徐々に経済の流れが再開してきています。しかしそれに伴い、私たちが生活していく中で新たな問題も浮上してきました。一番身近に感じられるものは「値上げラッシュ」です。エネルギー需要の上昇、さらにはロシア連邦によるウクライナへの軍事侵攻の影響もあり、原油やガスが高騰し、特に小麦・食肉などの輸入品目においては著しい値上げが続いています。7月には約1600品目が値上げとなり、今後は年内累計で2万品目を超えるとされています。秋以降には円安の影響が本格化し再値上げの動きも強まるとの見方もあります。水産品関連は依然高値が続き、冷凍・加工食品の値上げ率上昇、10月には飲料の値上げ・・・。家計への負担がさらに大きくなっていく中、磐田市議会として今後どのような対応策が必要なのか、行政として何ができるのかを調査研究し、市に提案していきますので、皆さまからのお声をお聞かせください。

そして、私たちは物価上昇についてどのような対応をすればよいのでしょうか。燃料やガス、特に食料品は生活に直結するものです。できるだけ地場産の食料を使ったり、燃料や食品の無駄をなくして節約することは値上げへの影響を軽減させるだけでなく、地域にも環境にも優しい暮らしだと考え、工夫していくのも良いかなと考えます。

7月8日、安倍晋三元内閣総理大臣が奈良市で演説中に銃弾を受け、無念の死を遂げられました。暴力で訴えるのはあまりにも卑劣であるとともに、民主主義の根幹たる選挙期間中に起きたこの事件は、断じて許されないものです。「こんな事件がまさか日本で起こるなんて」と恐怖を感じた方も多くいらっしゃると思います。事実、私も第一報が報じられた際は大きなショックを受けました。日本は銃規制が厳しく、銃犯罪は極端に少ない。美しく、治安の良い国と言われているようですが、果たして『安全神話』は信じて良いのでしょうか。社会全体で考えていかなければならないと感じました。

結びに — 安部元内閣総理大臣のご逝去を悼み、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

あしかわ和美

発行：あしかわ和美後援会 『ピース・ファミリー』事務局

住所 〒438-0041 磐田市西之島18番地

TEL 0538-33-8201

FAX 0538-21-0181

【メールアドレス】ashikawa@econowa.org

【ホームページ】<http://kazumi55.jimdo.com/>

【フェイスブック】「芦川和美」で検索してください



内部資料

